

Golden Age Project COMP-2A



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / COMP-2A

GAP(Golden Age Project)の COMP-2A は、ビンテージ・真空管コンプレッサーの名機『LA-2A』を再現したコンプレッサー/レベリング・アンプです。バキューム・チューブとサイドチェイン、入出力のバランス回路には、それぞれの目的に最適化された個別のトランスフォーマーが配されています。クラシック・デザインに忠実なリアル・ビンテージ回路にこだわったことで、当時のサウンドを完全に再現しており、プラグインなどとは比較にならない「本物の真空管コンプレッション・サウンド」を楽しむことができます。

COMP-2A のもつ、芳醇で生き生きとしたチューブ・サウンドは、プラグインなどのデジタル・シミュレートでは決して表現できない、とても有機的な「本物のアナログ質感」をトラックに与えることができます。デジタル録音が主流の現代において、このようなリアルなアナログ・サウンドが求められています。

オリジナルでは背面に装備されていた、様々なスイッチやコントロールは全て前面に配置。より使いやすくアップグレードされています。



サーキット・デザインについて

入力信号はまず初めに入カトランスでバランス化され、レベルも増加されます。次にサイドチェーン回路とゲインリダクション回路の両方にルーティングされています。

ゲインリダクション回路は光学式の T4B モジュール内を経て、GAIN ポテンシオメータと、2つのダブルトライオード真空管からなる出力段に送られます。真空管の 12AX7 は電圧増幅器として動作し、真空管 6N6 はカソード・フォロワとして動作しています。最終的にはインピーダンス整合とバランス出力を提供する出力トランスから音声が出出力されます。

サイドチェーン・セクションは 12AX7 真空管と 6P1 パワー管で構成され、T4 ELOP 内の EL パネルの発光に使用されています。高いボルテージとなるほど光量が増しフォトセルが反応します。

また HF コントロールによって、中高域へのサイド・チェーン信号のレベルを増加させ、1kHz 以上の周波数に対する感度を高めることができます。従来は放送局で高域の過変調のトリートメントに使用されていた機能ですが、現代のレコーディングでは高域の周波数のみをより強くリミッティングすることで、まるでアナログテープに録音したようなコンプレッション感をトラックにプラスするなど、より積極的な音作りの為に利用する事ができます。

USING COMP-2A

■ 電源インレット

COMP-2A は電源を内蔵していますので、付属の AC コードを接続してください。
100V～120V の電圧でご使用いただけます。

■ GND

グラウンド端子です。

■ LINK

2 台の COMP-2A をステレオ・リンクさせる際に TRS ケーブル (TS ケーブルも可) で両機を接続させます。

■ INPUT / OUTPUT

入力／出力端子は XLR または TRS フォンジャックがご利用いただけます。各 XLR/TRS 端子はパ
ラレルで接続されています。

■ サイズ

サイズはハーフラックサイズ、高さは 2U 相当。



■ ON / OFF

フロントパネルにユニットの ON/OFF スイッチがあります。

■ GAIN(ノブ)

GAIN コントロール・ノブは出力レベルを設定します。メイクアップゲインを調整します。

■ PEAK REDUCTION(ノブ)

PEAK REDUCTION ノブはコンプレッションを調整します。時計回り方向に回すと効果が強まります。

■ METER

・メーターでは切り替えによりゲインリダクションと出力レベルを確認できます。METER スイッチを **GR** ポジションに設定する事でゲインリダクション量が確認できます。0 ポジションでコンプレッションされていない状態です。また **ZERO** と表記されているトリムポットを調整する事で GR メーターの 0 調整を行うことができます。

METER スイッチを+4、または+10 ポジションに設定することで出力レベルを確認する事が可能です。メーターが 0VU 位置でのリファレンスレベルを+4または+10 ポジションで設定できます。+10 ポジションではメーターが高い出力レベルの際に振り切るのを避けるのに役立ちます。

■ BYPASS スイッチ

BYPASS スイッチでコンプレッションのかかったサウンド(IN ポジション)と、バイパスのサウンド(BYPASS)を簡単に比較する事ができます。

■ HF コントロール(左下のノブ)

HF コントロールでは高域信号のコンプレッション感度を調整できます。このノブを時計回り方向に回すと、より中高域へのコンプレッションが大きくなります。FLAT 側に設定するとこのノブは無効になります。従来は放送局で高域の過変調のトリートメントに使用されていた機能ですが、現代のレコーディングでは高域の周波数のみをより強くリミッティングすることで、マイルドなアナログ感をプラスするなど、より積極的な音作りの為に利用する事ができます。

■ LIMIT / COMPRESS スイッチ

LIMIT/COMPRESS スイッチでは、コンプレッション・カーブをリミッター・タイプまたはコンプレッサー・タイプで切り替えます。COMPRESS ポジションがスタンダードなポジションです。

COMP-2A のステレオ・オペレーションについて

COMP-2A を 2 台使用したステレオ・オペレーションでは、2 つのユニットをリアパネルの LINK 端子で接続することで、両機のサイドチェインをリンクさせることができます。接続にはアンバランスの TS (TRS も可) フォンケーブルを使用します。

MONO と表記されているトリムポットは、COMP-2A を 2 台使用したステレオ・オペレーションの際のキャリブレーションに使用します。

【COMP-2A ステレオ・オペレーションのキャリブレーション方法】

- 1、2 台の COMP-2A の LINK 端子を TS または TRS フォンケーブルで接続します
 - 2、両方のユニットの LINK スイッチを ON ポジションに設定します
 - 3、MONO トリムポットを時計回りに回し切りに設定します
 - 4、各ツマミ/スイッチの設定を確認します。
 - ・PEAK REDUCTION ノブを 0 位置に設定します
 - ・LIMIT/COMPRESS は COMPRESS に設定します
 - 5、METER スイッチを +4 ポジションに設定します
 - 6、シグナル・ジェネレーターを接続し 1kHz、出力レベル 1.23V(+4dBu) に設定します
 - 7、両ユニットの GAIN コントロールノブで出力が 0dB となるよう調整します
 - 8、両ユニットの METER スイッチを GR ポジションに設定し、どちらかのユニットの PEAK REDUCTION ノブでメーターが約 -5dB となるよう調整します。この時、両方のユニットが反応しています。
 - 9、どちらの COMP-2A がよりゲインリダクションしているかを確認し、そのユニットの MONO コントロールを調整して、もう一台の GR メーターが同じ振れになるように調整します。PEAK REDUCTION ノブとの調整を反復し、最終的には両ユニットが -5dB を示すように調整します。
- この項の調整は、すべてゲインリダクションの大きいユニットで行います。

*ステレオ・オペレーション時にはマッチド・コンプレッションとアウトプットを得るために、両ユニットのノブ位置は同じ設定にしてください。

ベンチレーションについてのご注意

GAP(Golden Age Project)の COMP-2A は真空管機器のため熱を発生しますので、十分なベンチレーション(換気)を保つことは非常に大切です。ユニットの上面、背面または側面のパネルを覆わないよう配慮し、空気がすべての換気スロットを通して循環できることを確認してください。

真空管について

GAP(Golden Age Project)の COMP-2A は真空管を使用しています。

12AX7(チューブソケット“U1”と“U4”)は好みのブランドの真空管にリプレイスすることが可能です。また、ソケット“U2”の6N6は12BH7にリプレイスすることができます。その場合は必ずジャンパー“TX1”を“6N6”から“12BH7”の位置に設定する必要がありますのでご注意ください。

6P1 真空管はソケット“U3-6P1”の位置に取り付けられており、“U3-6AQ5”ソケットには真空管は取り付けられていません。、“U3-6AQ5”ソケットには、6P1の代わりに6AQ5真空管を取り付けることができますが **“U3-6P1”と“U3-6AQ5”の両方に真空管を挿すことはできませんので、十分に注意してください！**必ずどちらか一方のチューブソケットに適切な真空管を設置する必要があります。

